

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「領事便り」
- 4 「広報・文化便り」
- 5 「日本関連行事等のお知らせ」
- 6 「政治」
- 7 「経済」

\*\*\*\*\*

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

寒い日が続きますが、皆様、如何お過ごしでしょうか。

今月は、令和になり、初めての天皇誕生日レセプションをICA O本部にて行います。このレセプションは、ICA Oの日本代表部との共催ですが、本年度からICA O代表部に福島大使が着任され、一段とレベルの上がったレセプションになります。また、今回は東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえて、特別ゲストとして、カナダのオリンピック委員会にも参加して頂き、オリンピックに向けた意気込みを語って頂くこととしました。厳冬の中での祝賀ですが、是非成功させたいと思います。

(新型コロナウイルスについて)

先月から、新型コロナウイルスが中国で猛威を振るい、アジア諸国を中心に世界各地で感染が確認されています。当地カナダでも、若干名ですが、患者が確認されました。また、北米地域では、米国を中心にインフルエンザが猛威を振るっています。幸いなことに当館の所管地域ではこれら感染症が深刻化しているわけではありませんが、こうした感染症の拡大の動き、特に、新型コロナウイルスにつきましては、皆様にも不安があるかと思えます。日本政府の発信する情報につきましては下記で正確な情報が得られますので、参考にしてください。

<外務省・海外安全ホームページ>

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

<厚生労働省ホームページ>

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

また、当館の活動として、今月末にオタワの日本大使館の医務官の当地出張の際、邦人を対象に感染症対策についてのセミナーを開催することを検討しています。セミナーの実施結果・概要については、追って当館のホームページ等を通じて情報を提供させていただきます。

この事態に関連して総領事館として一つの気がかりがあります。新型コロナウイルスの拡大につれて、世界の他の地域で、中国人あるいは中国人に間違えられたアジア人に対する差別的対応がいくつか報じられています。多様性と寛容に富む当地でこのような残念なことが起こるとは思え

ませんし、また、そのような被害に遭われた方は今のところおられないと承知していますが、今後、万が一、被害に遭われることがあれば、総領事館に連絡をください。

感染症の今後の見通しは不透明ではありますが、日本政府としては、国際協力を通じてこの難局を乗り切り、予定通りオリンピックを開催し、平和の祭典を成功させるべく万全を尽くす所存です。

## 2 総領事館からのお知らせ

### (1) 2020年2月、3月の休館日のお知らせ

2020年2月24日(月) 天皇誕生日 振替休日

3月20日(金) 春分の日

## 3 領事便り

### (1) 当館管轄州での3月の領事出張サービスについて(再度のご案内)

当館では、モンリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために、領事出張サービスを実施しています。

本年3月の領事出張サービスについて、以下の日程で実施しますので、お知らせいたします。近隣にお住まいの皆様におかれましては、是非この機会をご利用くださいますよう宜しくお願いいたします。

### ○ハリファックス領事出張サービス

日時 : 2020年3月14日(土) 午後12時~午後4時

場所 : Halifax Central Library (Windsor Foundation Room (4F))

住所 : 5440 Spring Garden Road, Halifax, NS, B3J 1E9

申込締切 : 2020年2月28日(金)

【詳細】 [https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday\\_halifax\\_20200314.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_halifax_20200314.html)

領事出張サービスに関するご照会は、当館領事班までお願いします。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : [consul@mt.mofa.go.jp](mailto:consul@mt.mofa.go.jp)

### (2) 在留状況確認調査 : 協力依頼

現在、当館では、当地で災害や緊急事態が発生した際に、在留邦人の皆様の安否確認や必要な情報を提供する等のための連絡が迅速に行えるよう、2月6日付で領事メールを発信し、在留届の記載内容を確認させていただいております。

領事メールにて本件調査の協力依頼をお受け取りになった方のうち、ご回答いただいていない方がいらっしゃいましたら、ご返信いただけますと幸いです。

在留届に関するご照会は、当館領事班までお願いします。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : [zairyu@mt.mofa.go.jp](mailto:zairyu@mt.mofa.go.jp)

(3) 領事サービス向上・改善のためのアンケート調査（回答への協力をお願い）

より良い領事サービスの提供と更なるサービスの向上・改善のため、過去1年間の間に、旅券や証明書の申請、各種相談等、当館領事窓口（電話での相談・照会等を含む）をご利用いただいた方の率直なご意見、ご感想をいただきたく、日本時間2月29日（土）迄の間、アンケート調査を実施しています。

アンケートは以下の URL からアクセスできますのでご協力願います。

アンケート : <https://forms.gle/3oPgkzF2daAR8rAc9>

(4) 2020年旅券の申請受付開始について

令和2年2月4日以降、国内旅券事務所及び在外公館において受理する旅券の発給申請について、新型の2020年旅券を交付しています。

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page22\\_003416.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page22_003416.html)

(5) モントリオール日本語補習校からのお知らせ

「教務助手」の募集（モントリオール日本語補習校）

モントリオール日本語補習校では、以下の条件に合う、熱意のある方のご応募をお待ちしております。

- 小学生および中学生の教員のサポート業務（採点、準備等）を行える方。
- 教務事務全般のサポートを行える方。
- カナダ国法、ケベック州法および日本国法に抵触することなく補習校で勤務できる在留資格（ビザ）を有する方（本校からは就労ビザを出すことはできません）。

※応募方法については、本校のホームページ（<http://mtl.jpschool.web.fc2.com/>）にアクセスのうえ、詳細をご覧ください。

#### 4 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（[culture@mt.mofa.go.jp](mailto:culture@mt.mofa.go.jp)）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 第31回ケベック州日本語弁論大会

日時：3月7日（土）10時

場所：ケベック大学モントリオール校

UQAM, Room R-M 110

315 Sainte-Catherine St. East, Montreal

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr\\_fr/evenements.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_fr/evenements.html)

(2) 第22回大西洋州日本語弁論大会 (NS 州)

日時：3月8日 (日)

場所：セント・メアリーズ大学

Scotiabank Theater

Saint Mary's University - Halifax, NS

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr\\_en/events.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_en/events.html)

## 5 日本関連行事等のお知らせ

\* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

\* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

(1) Obsession : Sir William Van Horne's Japanese Ceramics

モントリオール美術館にて、ウィリアム・ヴァン・ホーン氏のコレクションである日本の陶器展が行われています。

期間：11月20日 (水) ~ 3月1日 (日)

場所：Montreal Museum of Fine Arts

<https://www.mbam.qc.ca/en/exhibitions/upcoming/obsession-sir-william-van-horne-japanese-ceramics/>

(2) 生け花インターナショナル2月の行事

Mireille Dumouchel 氏による野菜と果物を使ったプレゼンテーションが行われます。

日時：2月18日 (火) 13時

場所：Mountainside United Church, 687, avenue Roslyn, Westmount

参加費：20ドル (要予約)

問合せ・予約連絡先：田中和子氏 ( [kazuko.dorangeville@gmail.com](mailto:kazuko.dorangeville@gmail.com) )

(3) Next Music from TOKYO vol. 15

日本のインディーズバンドによるライブです。

日時：5月17日 (日) 開場19時, 開演20時

場所：Petit Campus, 57 Prince-Arthur Est, Montreal

<https://www.nextmusicfromtokyo.com/shows/2019/5/15/montreal-petit-campus>

(4) Les Grands Chefs Relais & Chateaux 2020

大阪の料亭「柏屋」のグランシェフであり、ミシュラン3つ星シェフの松尾英明氏による夕食会がITHQ基金によって開催されます。

日時：5月28日 (木) 18時カクテル, 19時食事

場所：Casino de Montreal, 1, avenue du Casino

<https://www.ithq.qc.ca/ecole/fondation/actualites/article/les-grands-chefs-relais-chateaux-2020/>

## 6 政治

### (1) 政治

#### ア ケベック (QC) 州

- ・ 1月9日、ケベック州政府がイランで撃墜されたボーイング737型機に搭乗していたケベック州出身の犠牲者家族に対し、専用電話相談窓口設置を始め必要な支援を行うと発表。
- ・ 1月10日、ケベック州政府が2022年新学期より現在公立学校で行われている「倫理・宗教文化 (ECR)」の授業を廃止すると共に新たなプログラムを導入すると発表。ロベルジュ州教育大臣は、現行プログラムは宗教に重点を置き過ぎてきたと指摘。
- ・ 1月21日、シャレ (Mr. Jean Charest) 元州首相が、連邦保守党党首選出馬を断念。
- ・ 1月21日、ケベック州政府が医師幫助による死 (physician-assisted death) が認められるための条件を6項目から5項目に減らし、より多くの患者が同制度を利用できるようにすることを決定。

#### イ 大西洋州

- ・ 1月13日、大西洋州首相会議がNL州セント・ジョンズで開催。4州首相が財政安定化、健康・薬保険、インフラ、移民、経済競争力について話し合った。ルゴーQC州首相も招待を受け一部の会合に参加し、クリーンエネルギーの開発・送電について意見交換した。

#### ウ ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

- ・ 1月12日、大西洋州首相会議に先立ち、ボール州首相とルゴーQC州首相が面会し、両州が行う水力発電による電力の他州への供給機会について話し合った。
- ・ 1月16日、1月10日に88歳で死去したジョン・クロスビー元連邦大臣・元州副総督の国葬がセント・ジョンズで行われた。同氏はチェス・クロスビー現州進歩保守党党首の父。
- ・ 1月17日、猛吹雪でニューファンドランド島東部各自治体が非常事態宣言。州都セント・ジョンズ市では1日で76センチメートルの積雪と時速150キロメートルの風速を記録。20日、復旧作業支援のためカナダ軍が同島に出動。25日、セント・ジョンズ市が8日間続いた非常事態宣言解除。
- ・ 1月29日、NL州政府が、7月1日より州内の小売店におけるプラスチックのレジ袋使用を禁止すると発表。

#### エ ノバスコシア (NS) 州

- ・ 1月6日、州新民主党 (NDP) が、マーティン (Ms. Tammy Martin) 州議会議員が健康上の理由で議員辞職したと発表。これにより州議会におけるNDPの議席数は4となった。(総議席数は51)
- ・ 1月30日、州政府が、4月1日より最低賃金を現在の時給11.55加ドルから1ドル多い12.55加ドルに引き上げると発表。

#### オ ニューブランズウィック (NB) 州

- ・ 1月30日、ヒッグス州首相がフレデリクトンで同州の現状について演説。州政府は民間による対NB州投資拡大、より多くの移民受け入れ、5Gテクノロジーの早期導入を目指す述べ、加えて州投資公社「オポチュニティNB」初の海外拠点をインドとヨーロッパに開設する予定であると発表。

### (2) 各州世論調査結果 (未確定分は除く)

#### 連邦下院選挙 (政党支持率)

##### ア 州議会選挙 (政党支持率)

- ・ QC州 (レジェ (Leger Marketing) 調べ、1月13~15日): ケベック未来連合 (CAQ) 4

2%, 自由党23%, ケベック党(PQ)19%, ケベック連帯(QS)11%, その他5%

#### イ 連邦議会選挙(政党支持率)

・QC州(レジェ調べ, 1月29~30日): 自由党32%, ブロック・ケベコワ(BQ)32%, 保守党18%, 新民主党(NDP)11%, 緑の党5%, その他2%

## 7 経済

### (1) QC州

・1月2日, ボンバルディアと中国中車の合併企業 Bombardier Sifang (Qingdao) Transportation が, 中国国営企業 China Railway の新幹線車両160両の製造のため, 5.27億ドルの契約を受注。

・1月7日, 州内でプロヴィゴ(Provigo), マクシ(Maxi)等のスーパーを展開するロブロウ(Loblaw)が, 2021年までにラヴァル倉庫を閉鎖すると発表。550人の雇用が失われる。

・1月8日, コンサルティング大手デロイトによると, 2020年の経済成長率はカナダ全体で1.9%, ケベック州は1.5%の見込み。

・1月10日, ケベック州電力公社(HQ)が, NB州への電力供給に関し合意を発表。合意によると, HQはNB州に現在供給中の電力量に加え47テラワット時(TWh)を供給する。またNB州のエネルギー公社「エナジーNB」が保有する同州内最大の水力発電所改修工事のため財政支援を行う。

・1月10日, 航空機エンジンメーカーのGEアヴィエーションが, ブロモンの自社工場従業員の13%にあたる約600人の解雇を発表。ボーイング737マックス生産停止の影響とみられる。

・1月15日, ケベック映画・テレビ事務局(BCTQ)によると, 2019年に州内で行われた海外作品ロケや特撮による経済効果は, 前年度比13%増, 史上最高額となる10億加ドル近くに達した。

・1月15日, エアカナダが北米路線向けに45機発注したエアバスA220型(旧ボンバルディアCシリーズ)1機目を初公開。残りは今後エアバスのミラベル工場で製造される。

・1月20日, ボンバルディアと中国中車の合併企業 Bombardier Sifang (Qingdao) Transportation が, 中国国営企業 China Railway の新幹線車両656両のメンテナンス契約を受注。契約額は4.65億ドル。

・1月21日, ボンバルディアがドイツ・ベルリンに本社を置く鉄道部門の仏アルストムとの合併を検討しているとブルームバーグが報道。

・1月23日, ダボス会議に出席するためスイスを訪問中のルギー州首相は, ケベック州政府によるエアバスA220型事業への新たな支出の可能性を否定しないながらも, エアバスがA220型機よりも長いA220-500型機との同時開発を行えばA220型事業の採算がとれないとし, 同社の姿勢に疑問を呈した。29日, ルギー州首相が, 同事業への新たな支出は行わないと発言。

・1月24日, 玩具メーカーのメガブランドが, 1967年から「メガブロック」を製造してきたモンリオール市サン＝ローラン工場の閉鎖を発表。これにより600人の雇用が失われる。メガブロック製造拠点は今後, 親会社であるマテル傘下の中国とメキシコ工場に移管される。

・1月20日, 企業債権者調整法適用中のリチウム鉱山開発会社ネマスカリチウム(以下「ネ」社)が, マレット(Mr. Jacques Mallette)氏を取締役会長に任命。同氏は印刷大手ケベコー・ワールド(当時)の経営立て直しに貢献した人物。27日, 「ネ」社が新たに従業員の半数にあたる29人を解雇。29日, 「ネ」社が同社の3.5億米ドル相当の債券を保有するNordic Trusteeに対し3,000万米ドルを支払うことで和解。この訴訟の終結により「ネ」社はプロジェクト完成に必要な11億加ドルの出資者探しに向け一歩前進。

・1月29日, ケベック州政府が辞任するサビア・ケベック貯蓄投資公庫(CDPQ)代表に代わり, エモン(Mr. Charles Emond)氏が直ちに就任すると発表。任期は5年。

・1月30日, ケベック州政府がリターナブル容器制度導入を決定。ワイン, スピリッツのボトル

は25セント、100ml～2L入りのプラスチック・紙容器は10セントで回収する。2022年に予定されている次回州議会総選挙実施後に順次開始予定。

#### (2) NL州

・1月9日、ウエストジェット航空が運営する超格安航空 Swoop が、2020年夏季にハミルトンーNL州セント・ジョンズ間を毎日運航すると発表。同時にハミルトンーNB州モントクトン便（週4便）、ハミルトンーPEI州シャーロットタウン便（週3便）の運行も発表。

#### (3) PEI州

・1月14日、州第2の都市サマーサイド市が、21メガワットの太陽光発電ファームと10メガワットの蓄電システム建設を発表。同市がサムスン・リニューアブル・エナジーと2017年に締結した3フェーズからなる覚書の第2フェーズにあたる同プロジェクトは、蓄電池とソーラーパネル65,000枚の設置を含み、同市のエネルギー自給率を62%に引き上げる見込み。建設費用6,800万加ドルは連邦政府、州政府、同市が負担する。

・1月17日、ウエストジェット航空が、2020年夏季にシャーロットタウンーカルガリー直行便を週4便運航すると発表。

#### (4) NS州

・1月15日、ジョーダン連邦漁業・海洋大臣が、ホッキ貝漁の先住民族向け漁獲枠25%を水産大手クリアウォーター（本社ハリファックス、以下「ク」社）がパートナーシップを組むファーストネーションに1年間の期限付きで割り当てると発表。トルドー連邦政権は先住民族との和解プロセスの一環で、長年「ク」社が独占してきたホッキ貝漁の漁獲枠の一部を先住民族に割り当てべく選考プロセスを見直してきたが、2019年も2020年も同枠は「ク」社がパートナーシップを組むファーストネーションが獲得しており、「ク」社による実質的な独占状態が続いている。

---

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 [emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp)

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 [emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp) までご連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/mailmag.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html)

#### ○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（[www.kantei.go.jp](http://www.kantei.go.jp)）

外務省ホームページ（[www.mofa.go.jp/mofaj/](http://www.mofa.go.jp/mofaj/)）

在カナダ大使館ホームページ（[www.ca.emb-japan.go.jp](http://www.ca.emb-japan.go.jp)）

当館ホームページ

（[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)）

当館 Facebook（[www.facebook.com/JapanConsMontreal](https://www.facebook.com/JapanConsMontreal)）

○発行：在モントリオール日本国総領事館  
Consulate General of Japan in Montreal  
1 Place Ville Marie, Suite 3333,  
Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当  
( [emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp) ) までご相談ください。

